

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	企業立地情報収集事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	誘致推進課			
施策	5-2	工業の強化と新たな産業の創造		主管課長	武井 厚			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①地権者、整備予定地、遊休地 ②立地検討企業等	意図	①円滑な土地利用ができるようになる ②市内での事業拡大が図れるようになる
事業内容	市内への立地を検討する企業等の動向及びニーズの把握と市内の整備予定地及び遊休地の情報等について収集し、マッチングに活用する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・TX沿線の区画整理事業の整備進捗が進むに連れて、企業側からの相談等が増加していることから、本市への注目が高まっているといえる。 ・国内経済の好転時期と合わせて、民間企業の首都圏への事業用地獲得を目指す動きがメディア以外にも企業面談で確認している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 新聞・情報誌からの収集						随時実施
	② 関係者との打ち合わせ						随時実施
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	業種ごとの立地動向、設備投資動向を把握することで企業面談等において的確な情報交換が可能となっている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・金融機関と企業立地動向、設備当時状況並びに土地に関する情報交換を定期的に行っている。 ・土地区画整理施行者と事業の進捗や保留地の販売に関する情報交換を定期的に行っている。 ・企業情報誌や新聞から成長過程にある企業や特異稀な技術を持つ企業の情報を取得している。 ・企業面談により進出条件、商圏等を把握し、誘致活動に活用している。 ・面談記録については紙ベース及び文書ファイルで保存をしているが、課員や関係する他課職員と逐次情報を共有できる状況にない。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,153,400	4,192,200	2,072,780			
事業費(b)(円)		/					
うち一般財源		/					
職員給与費(c)(円)		2,153,400	4,192,200	2,072,780			
人役・職員(人)		0.30	0.60	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）		/					
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）		/					

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	名刺情報の管理活用サービスを行う事業者等から、サービス内容を確認し、有効活用の手法を検証する。	③取り組みの課題	職員が様々な企業等の関係者と形成してきた人脈（人的資産）の有効活用
②今年度(H26)に実施した取り組み	名刺情報の管理活用サービスを行う事業者等から、企業情報の管理・発展的な活用手法について確認した。庁内の各部課を対象に企業情報の活用意向の有無をアンケートにより確認した。	④今後の改善計画	引き続き有効活用の手法の検討を行う。